

音楽

(オーケストラ、オペラ、ポピュラーミュージック等)

- ◆ 株式会社KAJIMOTO
- ◆ 公益財団法人東京二期会
- ◆ 株式会社ドワンゴ
- ◆ 公益財団法人読売日本交響楽団

国際音楽祭での新作初演と新作オペラ『北斎』の国際共同制作を通じた若手育成 (実施団体:株式会社KAJIMOTO)

目的・目標

新作オペラの国際共同制作と海外音楽祭への若手音楽家派遣プロジェクトを通し、世界における日本の文化芸術のプレゼンスの向上を狙うとともに、その活動を通して日本の若手アーティストおよびスタッフが大きな知見を獲得することを目的とする。

概要

伝統ある国際音楽祭のひとつ「ルツェルン音楽祭」に今後活躍が見込まれる音楽家を派遣することでスキルアップと海外での活動の場を拓ける機会を創出する。また、日本での成果発表の場となる公演を実施する。スコティッシュ・オペラとの国際共同制作では、新作オペラの制作過程を通し、次代を担う若手音楽家および若手スタッフの育成をし、活動の場を海外へと広げられるような知識と能力を培っていく。

3年目までの取組

「ルツェルン音楽祭への若手音楽家の現地派遣」では、世界的指揮者のもとでの音楽制作体験や海外音楽関係者との交流を通して知見獲得やネットワークを構築し、今後の海外での活動拡大の足掛かりとする。「ルツェルン音楽祭アカデミー in Japan」ではルツェルン音楽祭作曲アカデミーの参加者による、日本での成果発表の場とする。2026年にスコットランドで上演予定の新作オペラ「The Great Wave」では、日英の国際オペラ共同制作において若手音楽家・スタッフを多く起用することで、国際的な場で通用するコミュニケーション能力を培い、今後の活動の場を海外へと拡大していけるようにする。

5年目までの取組

新作オペラ「The Great Wave」の日本初演公演およびさらなる海外公演への展開へ向けた準備・制作活動を行う。ここでは「ルツェルン音楽祭への若手音楽家派遣」及び「ルツェルン音楽祭アカデミー in Japan」に参加した若手音楽家およびスタッフの積極的な登用を検討。プロジェクト参加者の成果発表となる機会を創出し、多くの国内外の文化芸術関係者からの評価を獲得し、今後の海外市場で活動できるようサポートをしていく。

(分野・ジャンル)

音楽(オーケストラ、オペラ)

(渡航先の国・地域)

ルツェルン(スイス/2025年)

グラスゴー、エジンバラ、(スコットランド/2026年)

(国内外の連携・協力体制)

劇場、オーケストラ、音楽祭事務局との連携

成果目標 (見込)	目標値
企画段階から海外公演等で登用される若手クリエイター等の数	10人
国内外の団体・企業等との連携数 (連携団体数、事業提携数、拠点形成数など)	8件
プロジェクトに関わる海外アーティスト・キュレーター等の数	8人
国内外で展開される公演・展示等の数	7回
国内外で展開される公演・展示等の入場者数	7,450人

中核となるクリエイターやアドバイザー

佐藤正治 (事業統括プロデューサー)
1975年梶本音楽事務所 (現KAJIMOTO) に入社。99年4月より取締役副社長。04年11月より取締役シニア・ディレクター、08年4月より同社プロジェクト・アドバイザー。
海外アーティストの日本招聘および日本発企画の海外公演に携わっている。



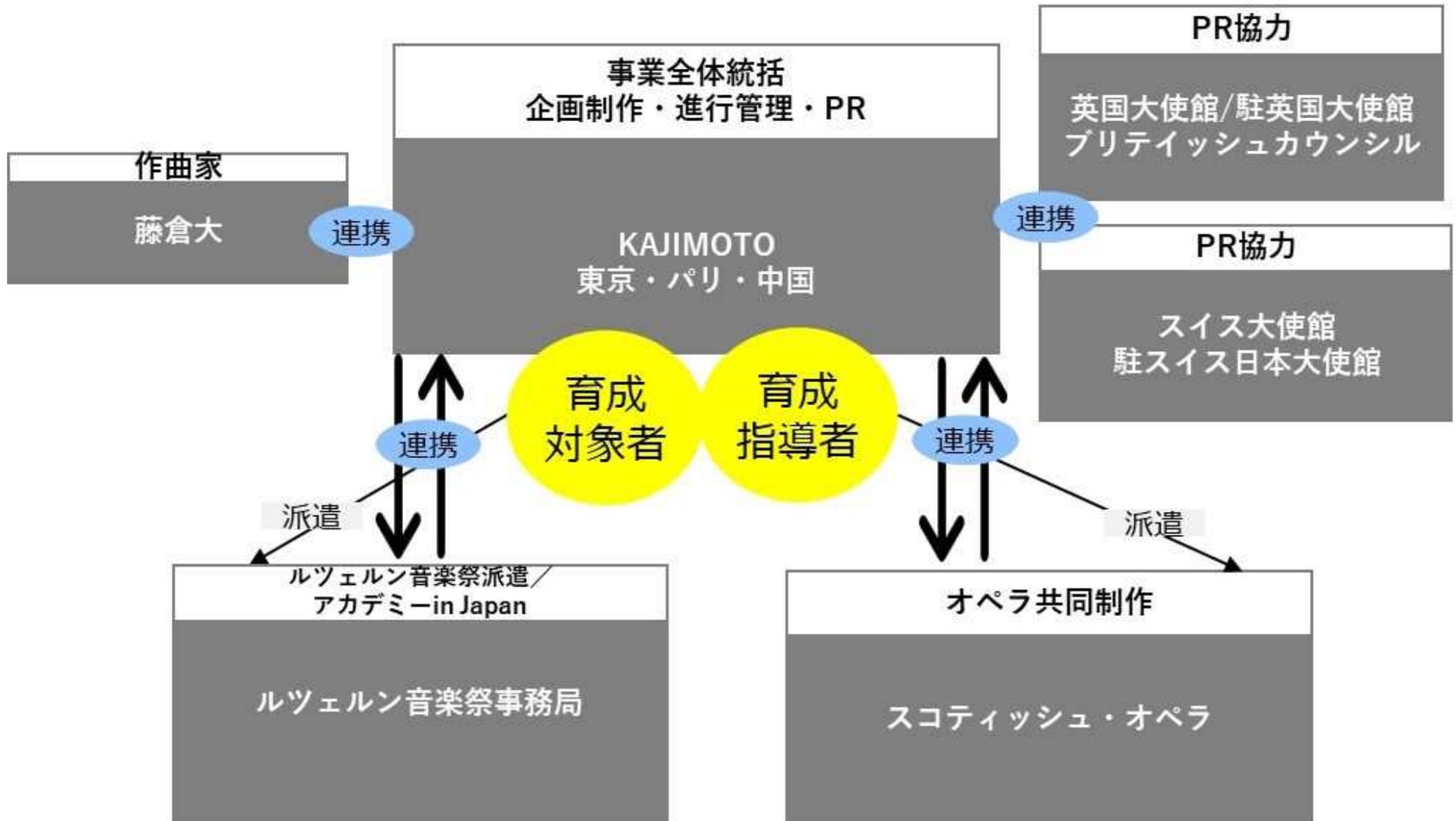
杉山亜希子 (オペラ・プロデューサー)
ノースウェスタン大学で音楽と心理学を専攻し、卒業後に小澤征爾音楽塾などでオペラ・プロデューサーとして、多数の海外歌劇場との共同作品の制作や日本伝統芸能の海外公演などに携わる。



育成対象者 : 10名予定

- ・指揮者
 - ・作曲家
 - ・舞台制作
 - ・照明
 - ・衣装
 - ・ビデオグラファー
- を予定

【補足資料】



アーティストの好循環を創り出す～大規模国際共同制作オペラを通じた輸出型プロモーションの試み (実施団体:(公財)東京二期会)

目的・目標

ボーダレスな活動を行い得る国際的アーティストの育成を目的とする。オペラにおけるアーティストの育成は、実際のプロダクションを通してのみ可能であり、これまで培ってきた欧米主要歌劇場とのコネクションを利用し、複数年にわたる国際的協働を通して令和のロールモデル作りを行っていく。

概要

国内外を問わず最低年1本のプロダクションを設定。育成対象となる声楽家と世界的歌手との共演機会の創出、それに伴うワークショップ実施、指導者からの個人稽古など、世界の舞台で活躍するための音楽的な素地を整えるほか、育成対象者スタッフについても、共同制作先である初演地でのアシスタント業務などを通じて、世界のプロダクションが求めるスキルを身につけていく。

(分野・ジャンル)

・音楽・オペラ

(渡航先の国・地域)

・欧州歌劇場(2026年度)

(国内外の連携・協力体制)

・オペラ・ヨーロッパ他

3年目までの取組

国内において世界的アーティストと育成対象者との共演機会となるオペラ公演出演及びペーター・コンヴィチュニー氏やロッテ・デ・ベア氏による演出ワークショップ受講、海外での指導者からの音楽個人稽古等、演唱両面を研修。中核クリエイターである宮本亞門氏演出のオペラ作品の海外上演を通し、研修の成果を世界に向けて披露する機会を確保する。



2023年東京二期会オペラ劇場『午後の曳航』演出：宮本亞門

5年目までの取組

宮本亞門及び育成対象者演出による新制作プロダクションで、オペラ上演を計画。プロダクションは2027年度に海外でのワールドプレミア後、2028年度には東京での凱旋公演を実施。当該プロダクションでは、コンセプト段階から育成対象者が指導者とともに関わることで、数年に亘り作品そのものの深度の追求とともに、それぞれの分野での高いスキルを習得する。



マスタークラスの様子
(講師：指揮者
レオナルド・シーニ)



演出ワークショップの様子
(講師：演出家ロッテ・デ・ベア)

成果目標 (見込)	目標値
企画段階から海外公演等々に登用される若手クリエイター等の数	12人
国内外の団体・企業等との連携数 (連携団体数、事業提携数、拠点形成数など)	30件
プロジェクトに関わった海外アーティスト・キュレーター等の数	30人
国内外で展開される公演・展示等の数	11回
国内外で展開される公演・展示等の入場者数	15,000人

中核となるアドバイザー



・宮本亞門
(演出家)
オペラ、ミュージカル、歌舞伎など、ジャンルを問わず演出を手掛ける日本を代表するクリエイターのひとり。複数年にわたるプロジェクトで、この事業をバックアップする。

育成対象者：14人

演出家/照明デザイナー/
声楽家/振付家/
指揮者/コーディネーター

弊財団理事長諮問機関たるオペラ企画委員会における選考、指導者による推薦等

育成対象者の取組例

シャンゼリゼ劇場との共同制作
『コジ・ファン・トゥッテ』への出演：
一條翠葉、河野大樹、宮下嘉彦
スタッフとしての参加：飯野聡ほか



演出家パーター・コンヴィチュニーによる
演出ワークショップ受講：
一條翠葉、河野大樹
通訳兼アシスタント：森川太郎



複数年を通じ、最低年
1本の公演プロダクシ
ョンを当事業として実施。
その公演を中心として、
各分野における国内外
での研修の構築。

指導者によるプログラム例

演出家：宮本亞門、ロッセ・デ・ベア、ギー・ヨステン
ン、カロリーネ・グルーバーによるプロダクションの実施



コレペティトウア：森内剛による音楽個人稽古
照明デザイナー：喜多村貴による現場での指導

海外歌劇場、海外メディアとの協力体制

協働する海外のオペラカンパニー例：シャンゼリゼ劇場、韓国国立オペラ
海外メディア例：オーパングェルト、オーパングラス等の雑誌媒体、新聞各紙、オペラベース
東京二期会の所属するオペラ・ヨーロッパ*と協働しての広報、情報共有など
*世界のオペラカンパニーの多くが所属する横断的組織であり、世界43か国、233カンパニーが参加

国内団体との協力体制

ホール例：やまぎん県民ホール、東京文化会館
研修機関：二期会オペラ研修所、国内各音楽大学
国内外広報コンサルティング：ジーン・アンド・フレッド
協賛企業：興和株式会社、ソニーフィナンシャルグループ株式会社、東京海上日動火災保険株式会社、
ダイドー株式会社、株式会社三井住友銀行、龍角散株式会社

ニコニコ動画主催企画を介した若手クリエイター発掘および海外進出プロジェクト (実施団体:株式会社ドワンゴ)

目的・目標

VOCALOID楽曲に携わる若手クリエイターを全世界的な影響力を持つ存在にすることを中長期的なアウトカムとし、世界有数のアニメイベントにおけるライブパフォーマンスを3年で実現させることを目標とする。

概要

KADOKAWA/国内のエンタメ企業/海外の音楽マーケティング企業と連携し、ニコニコ動画主催企画で頭角を表しているクリエイターならびにドワンゴが外部企業と共同プロデュースしているアーティストを対象に、海外アニメFESをはじめとしたアニメコンベンションイベントへの出演を目標にした包括的なサポートを実施する。

(分野・ジャンル)

音楽(VOCALOID楽曲)

(渡航先の国・地域)

- ・ロサンゼルス(アメリカ)(2026年)
- ・ニューヨーク(アメリカ)(2026年)
- ・シンガポール(2026年)

(国内外の連携・協力体制)

- ・海外に複数の拠点を持つ音楽マーケティング企業等と連携

3年目までの取組

ニコニコ動画主催企画で頭角を表しているクリエイター、ドワンゴが外部企業と共同プロデュースしているアーティストの海外認知度を高くすることを目標に、楽曲リリース/メディア露出/ライブイベントに至るまで包括的なサポートを実施する。海外の音楽マーケティング企業と連携し、楽曲を所与の地域で浸透させるための戦略策定およびクリエイターの楽曲制作の環境整備に尽力し、3年目にアメリカや東南アジアなど海外で実施されているアニメコンベンションイベントでのライブパフォーマンスを実現させる。



5年目までの取組

海外のアニメ系イベント出演を足がかりに国際的な企業とのタイアップや海外でのライブイベント出演を実現させ、より海外におけるボカロ楽曲のプレゼンスを上げる。ボカコレやニコニコ超会議等ドワンゴが主催するイベントにてワークショップを実施し、海外進出を目指すクリエイターの絶対数を増加させ、継続的に若手クリエイターを海外市場に輩出していく体制を築く。

成果目標 (見込)

目標値

企画段階から海外公演等までに登用される若手クリエイター等の数	5組
国内外の団体・企業等との連携数 (連携団体数、事業提携数、拠点形成数など)	188件
プロジェクトに関わる海外アーティスト・キュレーター等の数	100人
国内外で展開される公演・展示等の数	3回
国内外で展開される公演・展示等の入場者数	30,000人

中核となるクリエイターやアドバイザー

横澤大輔 (よこさわ だいすけ)

ニコニコ動画のコンテンツ戦略責任者として、戦略/新規企画/プロモーションなどを担当。

2012年からは16万人以上が集まる「ニコニコ超会議」の統括

プロデューサーを務めている。

また2016年より日本の伝統芸能・歌舞伎とネットカルチャー、テクノロジーを融合させた「超歌舞伎」の総合プロデューサーも務めている。

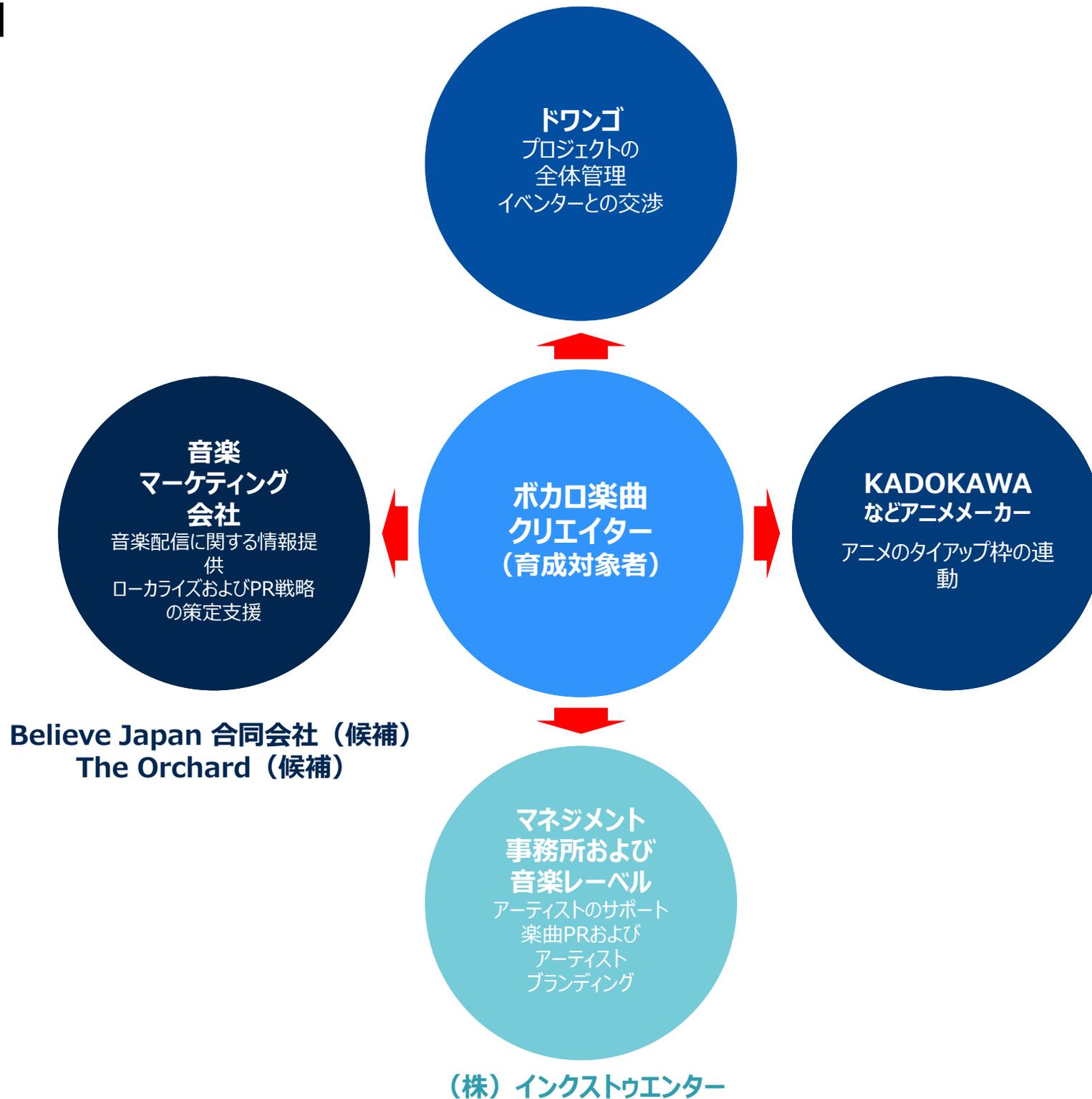
育成対象者：10人

ニコニコ動画が主催するVOCALOID楽曲同時投稿イベント「The VOCALOID Collection」にて優秀な成績を収めているクリエイター、並びに別企業との共同プロデュースを行っているクリエイターの中から海外進出に適したクリエイターを選定。本プロジェクトにてIPホルダーや全体の制作進行に携わる人材も併せて育成対象とする。

【補足資料1】



【補足資料2】



目的・
目標

欧州での公演ツアーを舞台に、当団の次世代の担い手である若手の楽員・職員が本場での演奏機会と聴衆、音楽文化に触れる体験を持ち、日常の演奏活動に成果を反映させることで、事業継続に必要な力を醸成する。また、欧州の音楽業界との人脈を開拓・維持し、日本のオーケストラの国際的プレゼンス向上と、邦人作曲家の作品紹介を通じて日本の文化力をアピールすることを目指す。

概要

2024年秋にドイツと英国の計8都市で演奏会を行う。指揮者は常任のヴァイグレ。日本人ピアニストの藤田真央らを共演者に迎える。プログラムにベートーヴェンやラフマニノフらの作品に加えて伊福部昭や武満徹の作品を盛り込む。ツアーの様子は動画に記録し、英語で発信する。帰国後のアンサンブル演奏会でツアーに参加した若手を登壇させ、世界の一線で活躍するリーダーとの共演を通じて芸術水準向上を図り、この様子も動画に記録して海外を意識した発信を行う。

3年目までの取組

24年10月中～下旬の公演ツアーで邦人作曲家の作品を紹介して日本の「音楽力」をアピールし、楽団の知名度向上を図る。楽員は本場の評価を受け、職員は現地で人脈を作り、ステージ運営の知見を得る。ツアーを動画に記録して25年度に発信開始。25～26年度は年4回のアンサンブル公演に欧州ツアーを経験した若手が登壇し、リーダーとの協働を経て芸術性を高め、舞台で成果を発表する。これも動画に記録し、海外へ発信する。



5年目までの取組



若手楽員の芸術的力量的の向上やステージ運営の改善に引き続き取り組み、アンサンブル演奏を通じて海外への発信を重ねていく。同時に、客演陣のグレードアップなど当団のプレゼンスのさらなる向上、日本のオーケストラの格の向上に資する取り組みを、欧州の人脈と経験を活かして若手制作スタッフが始動させる。次期海外ツアーの実施について、可否を含め、若い世代による検討作業に着手する。

中核となるクリエイターやアドバイザー

【セバスティアン・ヴァイグレ】

2019年から読響の第10代常任指揮者を務めるドイツの名匠。ベルリン国立歌劇場管の首席ホルン奏者から指揮者に転身。リセウ大劇場、フランクフルト歌劇場の音楽総監督などを務め、世界各地の有名オケと共演を重ねている。



【日下紗矢子】

ヴァイオリニスト、読響特別客演コンサートマスター。2000年バガニーニ国際コンクール2位。豊かな世界での経験をもとに、若手楽員との共演での確かなアドバイスをいながら演奏を率いる。



(分野・ジャンル)

音楽・オーケストラ

(渡航先の国・地域) ドイツ(ニュルンベルク、ベルリン、ハンブルクなど5都市)、イギリス(バーミンガム、ロンドンなど3都市)(2024年)

(国内外の連携・協力体制) 在ドイツのLee Music社と公演の開催交渉、宣伝、切符販売などで包括提携。ツアーは読売旅行へ委託し、報道・配信で読売新聞社、動画制作で日本テレビ放送網と連携する。アンサンブル公演では会場のトッパンホールと連携する。

成果目標 (見込)

目標値

企画段階から海外公演等々に登用される若手クリエイター等の数	30人
国内外の団体・企業等との連携数 (連携団体数、事業提携数、拠点形成数など)	13件
プロジェクトに関わる海外アーティスト・キュレーター等の数	12人
国内外で展開される公演・展示等の数	20回
国内外で展開される公演・展示等の入場者数	最大1万 3,500人

育成対象者：30人

楽員24人と、制作・事業・舞台スタッフから選抜した6人を対象とする。各分野の中堅・ベテランがプロジェクト推進にあたって指導・助言を継続的に行い、取り組みが目標の達成に向かって進捗していることを確認する。

欧州公演ツアーでの経験を通じて次世代の担い手を育成し、今後の公演活動に活かす



各分野の中堅・ベテラン、特別客演コンサートマスターらが継続的に指導・助言する

公演の企画・立案から実施に至る各段階での関与・連携を若手が経験する

読売日本交響楽団育成対象者 30人 (楽員24人 + スタッフ6人)



欧州公演ツアーでの経験を、小編成のアンサンブル公演を通じて個々のレベルアップをはかり、将来のフル編成のオーケストラ公演に活かす

(株)読売旅行
ツアー行程、楽器運搬

読売旅行は、国内オーケストラの海外公演で多くの実績を積んでいる。安全・確実、ストレスの少ない人員の移動と楽器の運搬は、公演活動の最重要基盤である。綿密な計画、打ち合わせ、交渉を必要とするツアーの経験を通じて、将来の海外公演を担う次世代スタッフの育成につなげていく。

読売新聞社
報道・配信

24年欧州公演ツアーに文化担当記者が同行する。ツアーの様相を読売新聞を通じて広く伝える。当団側職員による取材への協力、的確な情報提供を行うことで、次世代の広報・宣伝スタッフを育成する。

日本テレビ放送網
映像素材・動画等の制作

24年欧州公演ツアーを撮影チームが取材し、番組を制作する予定。多くの動画素材を収録し、読響がツアー後に英語の動画に仕立ててネット上で海外を意識して発信する。

Lee Music GmbH
在ドイツ当団代理店

24年欧州公演ツアー全体をマネジメントする現地代理店。現地会場との交渉から宣伝・集客・チケット販売までを行う。当団スタッフが代理店との交渉を通じて、現地の人脈を広げ、将来の海外公演を担う力を身につける。

公演開催地の主催者
制作・運営などで連携

国内外とも公演開催地の主催者、会場の舞台スタッフとの綿密な調整は、演奏会の円滑な運営に欠かせない。24年欧州公演ツアーを通じて得た知見を、将来の国内外の演奏活動に活かしていく。

トッパンホール(東京)
アンサンブル公演の主会場

年4回のペースで「読響アンサンブル・シリーズ」を開催している。大規模公演よりも、演奏家、スタッフ、舞台関係者との距離感が近い環境での公演を企画、実施することで、次世代を担う楽員、スタッフの一体感を醸成していく。